



白亜紀の新種ゾウギンザメ発見



©Masato Hattori

白亜紀ゾウギンザメの生体復元（海底付近の3個体）と同じ時代の生き物（カムイサウルス、ウミガメのメソダーモケリス、モササウルス、アンモナイトのパキディスクス）。服部雅人氏提供。



1 cm



発見した新種ゾウギンザメ
カロリンクス・オリエンタリス
（歯板）

発見・共同研究者の森木
かずのり 和則氏（札幌市）

森木和則氏が2013年に発見し、ギンザメ化石として穂別博物館に寄贈された化石について、北海道大学大学院修士課程を卒業された太田晶氏（むかわ町役場）を中心に研究をした結果、新種のゾウギンザメであることが分かり、カロリンクス・オリエンタリス（*Callorhynchus orientalis* sp. nov.）と命名しました。これは、日本初のゾウギンザメ属化石で、北太平洋地域で初のゾウギンザメ記録となりました。3月31日に学術論文が出版され、4月9日に記者発表を行いました。今回発表した化石と関連資料は8月31日まで穂別博物館で展示しています。



論文の著者（4月9日の記者発表）。左から小林快次教授、太田晶氏（筆頭著者）、西村智弘学芸員。

さらに詳しく知りたい方は、下記のプレスリリースなどをご覧ください。

プレスリリース：http://www.town.mukawa.lg.jp/secure/5406/Callorhynchus_press_release_20250409.pdf

学術論文：太田晶（むかわ町穂別博物館 学芸員）・西村智弘（むかわ町穂別博物館 学芸員）・小林快次（北海道大学総合博物館 教授）・森木和則（札幌市），2025 英：Callorhynchus orientalis sp. nov., a new callorhynchid from the Upper Cretaceous Hakobuchi Formation, Yezo Group, Hokkaido, Japan（北海道の蝦夷層群上部白亜系函淵層から見つかったゾウギンザメ科の新種カロリンクス・オリエンタリス）, Paleontological Research（日本古生物学会英文学術雑誌）, DOI：https://www.jstage.jst.go.jp/article/prpsj/29/0/29_240013/_article

学芸員 西村智弘

ほべつ 穂別博物館リニューアルへ（10）



新博物館建物。周囲の足場と網であまり見えませんが、内側に建物の鉄骨が組み立てられました（4月17日撮影）



オープン間近の温浴カフェ。写真左奥が新博物館（4月17日撮影）

新博物館は建物の鉄骨が組み立てられ、全体の形がわかるようになりました！温浴カフェ（穂別市街から移転・新築された樹海温泉ほべつ）は新博物館よりも1年早く、2025年4月26日（土）にオープンしました。



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30～17:00
（最終入館 16:30）

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300円	100円
団体 (10名様以上)	200円	50円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2025年5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2025年6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

休館日 町民無料観覧日